

# 1 いじめの認知件数

## (1) H26年度 月別いじめの認知件数（滝川市）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学校	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2

## (2) H24～26年度 いじめの認知件数（滝川市）

	H 2 4	H 2 5	H 2 6
小学校	4	2	2
中学校	5	5	0
計	9	7	2

# 1-2 いじめの態様（滝川市）

## (3) H26年度 いじめ月例報告から（滝川市）

		小学校	中学校
いじめの態様	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	1	0
	仲間はずれ、集団による無視をされる。	0	0
	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	0	0
	ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1	0
	金品をたかられる。	0	0
	金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	0	0
	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	0	0
	パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	0	0
	その他	1	0

# 1-3 いじめの発見・相談相手

## (4) H26年度 問題行動等調査から（滝川市）

(4) H26年度 問題行動等調査から (滝川市)			小学校	中学校
いじめの発見 のきっかけ	学校の教職員等が発見	学級担任が発見	0	0
		学級担任以外の教職員が発見	0	0
		養護教諭が発見	0	0
		スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0	0
		アンケート調査など学校の取組により発見	0	0
	学校の教職員以外からの 情報により発見	本人からの訴え	0	0
		当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	1	0
		児童生徒（本人を除く）からの情報	0	0
		保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0	0
		地域の住民からの情報	0	0
		学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	1	0
		その他（匿名による投書など）	0	0
いじめられた 児童生徒の相 談の状況	学級担任に相談		1	0
	学級担任以外の教職員に相談（養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く）		0	0
	養護教諭に相談		0	0
	スクールカウンセラー等の相談員に相談		0	0
	学校以外の相談機関に相談（電話相談やメール等も含む）		1	0
	保護者や家族等に相談		0	0
	友人に相談		1	0
	その他（地域の人など）		0	0
	誰にも相談していない		0	0

## 2 不登校児童生徒数

### (1) H26年度 月別不登校の状況（滝川市）

月別不登校児童生徒数（月別：7日以上）※病欠は除く

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H26 年間30日 以上	H25 年間30日 以上
小学校	4	4	4	5	4	4	5	5	5	4	5	5	5	6
中学校	15	14	15	14	15	17	20	21	19	20	22	15	28	37
計	19	18	19	19	19	21	25	26	24	24	27	20	33	43

### (2) H26年度 不登校の割合（在籍比）

- ・ 小学校：0.26 %（北海道 0.32%）
- ・ 中学校：2.66 %（北海道 2.54%）

## 2-2 効果のあった学校の措置

### (5) 効果のあった学校の措置（北海道）

	順位	効果があった学校の措置
小学校	①	家庭訪問を行い、 <b>学業や生活面での相談</b> にのるなど様々な指導・援助を行った。
	②	登校を促すため、 <b>電話</b> をかけたり <b>迎えにいく</b> などした。
	③	不登校の問題について、 <b>研修会や事例研究会</b> を通じて全教師の共通理解を図った。
	④	<b>保護者の協力</b> を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。
	⑤	<b>全ての教師</b> が当該児童生徒に <b>触れ合いを多く</b> するなどして学校全体で指導にあたった。
	⑥	様々な活動の場面において <b>本人が意欲をもって活動できる場</b> を用意した。
	⑦	保健室等 <b>特別の場所</b> に登校させて指導にあたった。
	⑧	教師との触れ合いを多くするなど、 <b>教師との関係を改善</b> した。
	⑨	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。
	⑩	<b>スクールカウンセラー、相談員等</b> が専門的に相談にあたった。
中学校	①	家庭訪問を行い、 <b>学業や生活面での相談</b> にのるなど様々な指導・援助を行った。
	②	不登校の問題について、 <b>研修会や事例研究会</b> を通じて全教師の共通理解を図った。
	③	登校を促すため、 <b>電話</b> をかけたり <b>迎えにいく</b> などした。
	④	<b>スクールカウンセラー、相談員等</b> が専門的に相談にあたった。
	⑤	<b>保護者の協力</b> を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。
	⑥	<b>全ての教師</b> が当該児童生徒に <b>触れ合いを多く</b> するなどして学校全体で指導にあたった。
	⑦	保健室等 <b>特別の場所</b> に登校させて指導にあたった。
	⑧	教師との触れ合いを多くするなど、 <b>教師との関係を改善</b> した。
	⑨	友人関係を改善するための指導を行った。
	⑩	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。

## 2-3 不登校問題の実態

### (6) H23～26年度 不登校数（滝川市）

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6
小学校	6	7	6	5
中学校	2 5	2 6	3 7	2 8
計	3 1	3 3	4 3	3 3

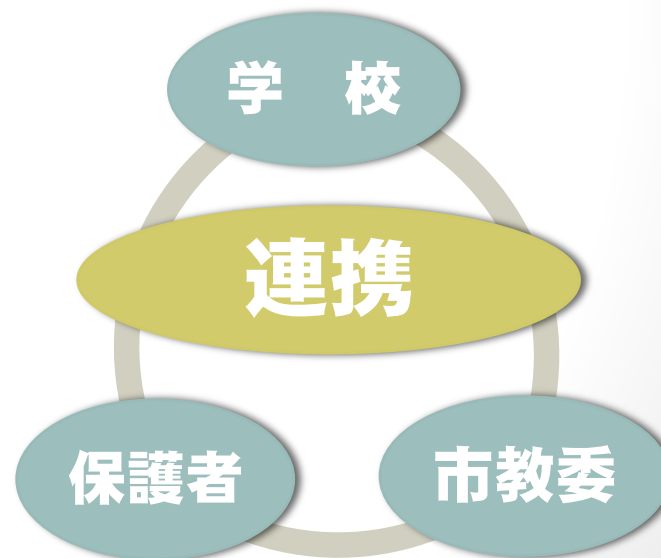
安否確認が取れた

学校適応指導教室へ通えるようになった

相談室等で過ごせるようになった

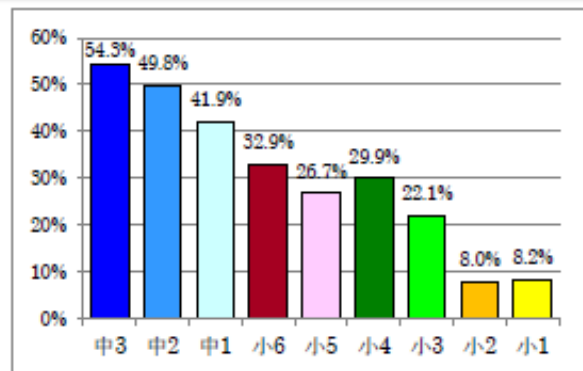
通常の学校生活を送れるようになった

学校の主体的かつ  
組織的な取組



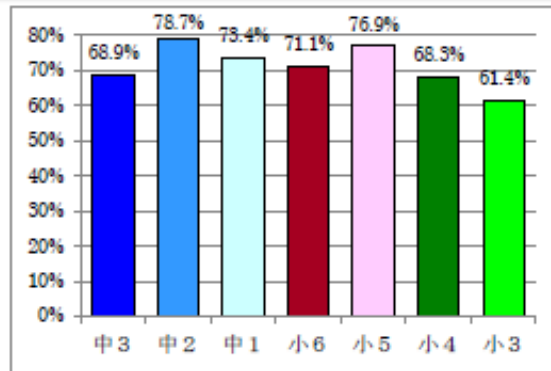
### 3 「スマートフォン・携帯電話の利用に関する意識」アンケート調査結果から

#### (1) 児童生徒のスマホ等の所持実態



【図1】子ども専用のスマホ等の所持率

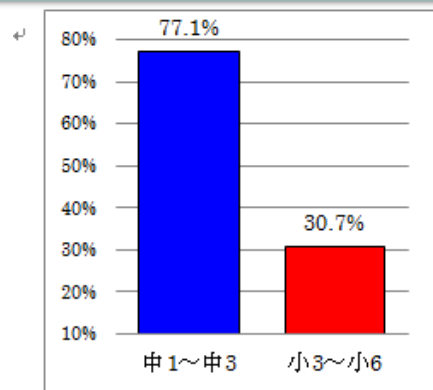
注) 全保護者回答 (小1・2) 全児童生徒回答 (小3～中3)



【図2】スマホ等を持ちたいと思っている児童生徒の割合

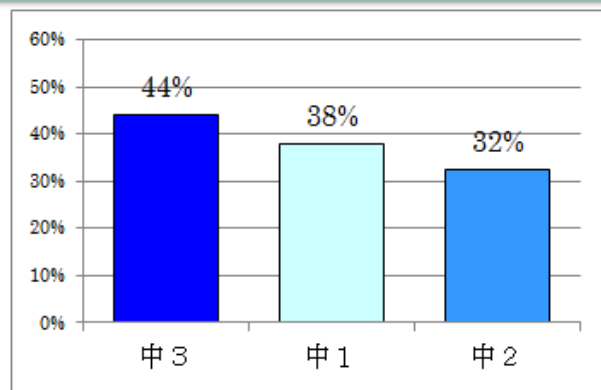
注) 児童生徒回答 (自分専用のスマホ等を持っていない児童生徒対象)

#### (2) フィルタリングの利用実態



【図3】ネットの危険性について、学校で学んだ児童生徒

注) 全児童生徒回答 複数選択

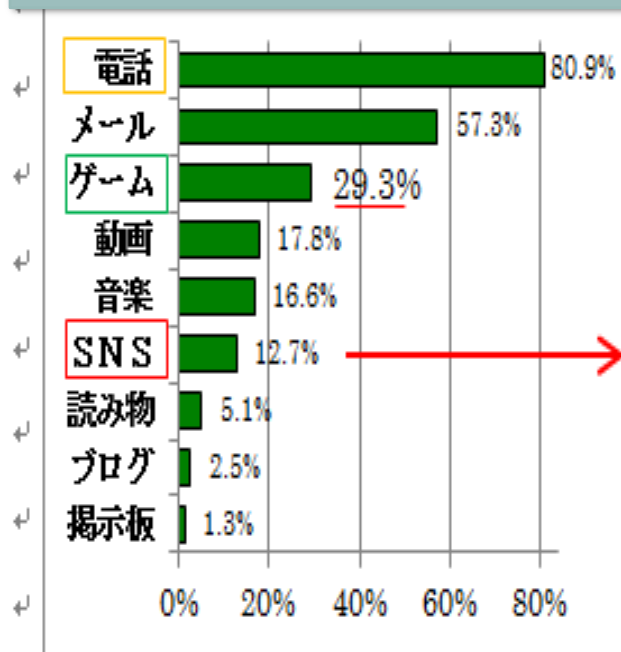


【図4】フィルタリングを利用していない上位3学年

注) 保護者回答 (子ども専用のスマホ等を持たせている保護者対象)

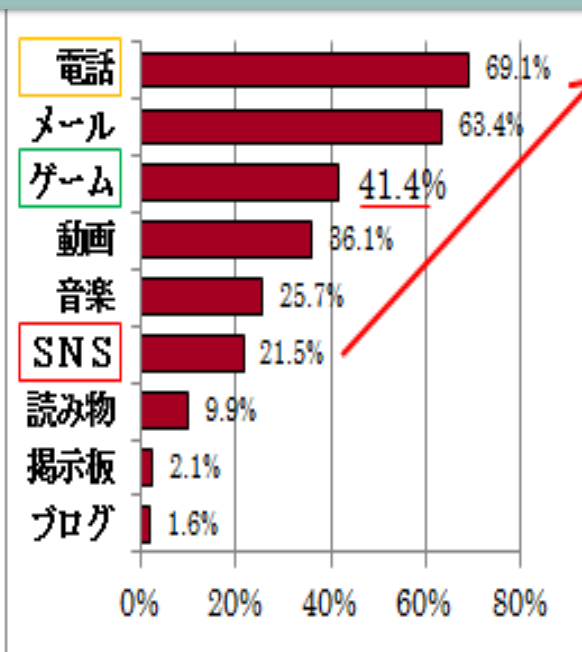
# 3-2 「スマートフォン・携帯電話の利用に関する意識」 アンケート調査結果から

## (3) 児童生徒のスマホ等の使用状況



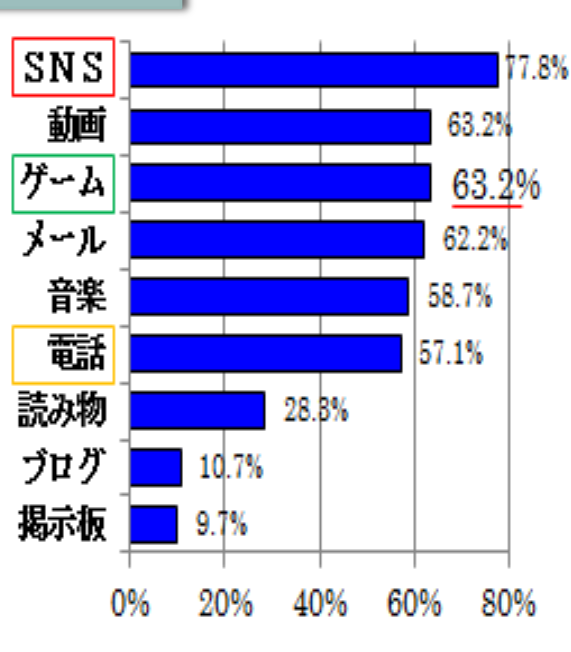
【図5】スマホ等で何を利用しているか  
(小学3・4年)

注) 児童回答(自分専用のスマホ等を持つ児童対象)。  
複数回答可能。



【図6】スマホ等で何を利用しているか  
(小学5・6年)

注) 児童回答(自分専用のスマホ等を持つ児童対象)。  
複数回答可能。



【図7】スマホ等で何を利用しているか  
(中学生)

注) 生徒回答(自分専用のスマホ等を持つ生徒対象)。  
複数回答可能。